

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-503153(P2008-503153A)  
 【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-004  
 【出願番号】特願2007-516441(P2007-516441)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信ネットワークにおける複数のノードとマスターとの間の通信のための方法であって

、

マスターのカバーエリアの内側にある第 1 のノードのグループには、第 1 タイムスロットグループが割当てられ、

マスターのカバーエリアの外にあるが、前記第 1 グループのノードのカバーエリアの内側にある第 2 ノードのグループには、第 2 タイムスロットグループに割り当てられ、

情報期間において前記第 2 タイムスロットの後に第 1 タイムスロットを設けて、第 2 タイムスロットの期間に第 2 ノードグループのノードから送信された情報は第 1 ノードグループのノードにより受信され、前記第 1 タイムスロットグループの間にマスターに再送信され、前記情報は、単一情報期間内にマスターにより受信され、

前記ノードによる再送信の期間において各ノードによりアドレス情報を追加すること  
 を特徴とする方法。

【請求項 2】

第 1 タイムスロットグループは、メッセージ期間の前記第 2 タイムスロットグループの前に設けられ、第 1 タイムスロットグループの前にマスターから送信されたメッセージが第 1 ノードグループにより受信され、第 2 複数ノードにより受信されるために第 1 タイムスロットグループの間に再送信され、更に、前記第 2 ノードグループのカバーエリア内の第 3 ノードグループにより受信されるために第 2 タイムスロットの期間に再送され、前記メッセージは単一メッセージ期間内に、送信、再送信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

メッセージ期間が、スリープ期間が後に続く情報期間の後に続く、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

通信ネットワークにおける複数ノードとマスターとの間における通信のための請求項 1  
ないし 3 のいずれか一項に記載された方法を実行するシステムであって、

マスターのカバーエリアの内側にある第 1 のノードのグループには、第 1 タイムスロットグループが割当てられ、

マスターのカバーエリアの外にあるが、前記第 1 グループのノードのカバーエリアの内

側にある第 2 ノードのグループには、第 2 タイムスロットグループが割り当てられ、

情報期間における前記第 2 タイムスロットの後に第 1 タイムスロットを設けて、第 2 タイムスロットの期間に第 2 ノードグループのノードから送信された情報は第 1 ノードグループのノードにより受信され、前記第 1 タイムスロットグループの間にマスターに再送信され、前記情報は、単一情報期間内にマスターにより受信され、

前記ノードによる再送信の期間において各ノードによりアドレス情報を追加するための手段を特徴とするシステム。

【請求項 5】

第 1 タイムスロットグループは、メッセージ期間の前記第 2 タイムスロットグループの前に設けられ、第 1 タイムスロットグループの前にマスターから送信されたメッセージが第 1 ノードグループにより受信され、第 2 複数ノードにより受信されるために第 1 タイムスロットグループの間に再送信され、更に、前記第 2 ノードグループのカバーエリア内の第 3 ノードグループにより受信されるために第 2 タイムスロットの期間に再送され、前記メッセージは単一メッセージ期間内に、送信、再送信される、請求項 4 に記載のシステム

。

【請求項 6】

コンピュータ上で実行されるとき請求項 1 乃至 3 の全てのステップを実行するプログラムコードを有するコンピュータ読み取り可能な媒体上に実装されたプログラムプロダクト

。